

祝 辞

日本雪氷学会 東北支部長 渡 邊 善 八

今年は、日本雪氷学会北海道支部が創立されて30年に当たりますが、今日この北海道大学学術交流会館において、かくも盛大なる記念式典が挙行されますことは、誠におめでたいことでありまして、心からお祝いを申し上げます。

今から30年前と申しますと、雪氷協会が雪氷学会に改組された4年後に当たりますが、その頃は木下若濱両先生によるアニリン固定法が世界的にブームを巻き起した時であり、また、吉田順五先生の「積雪の物理学」が雪氷誌上に賑わした時代でもありました。

雪氷の21巻3号は、北海道支部創立の特集号でありまして、当時のことが詳しく載っております。即ち支部創立に至るまでの経緯や創立総会の状況、さらには会長安芸皎一先生の記念講演の概要、初代支部長である吉田先生の御挨拶など、当時の方々の意気軒高たる零囲気をうかがうことができるのであります。当時支部幹事であった、木下先生は「今後、支部の行う事業を通じて、雪氷学の発展と北海道の開発に寄与することを一同誓い合った次第である」という文で、特集号を締め括っておられました。

創立後間もない昭和37年1月、釧路において支部主催の「除雪並びに凍上対策についての談話会」がありました。私、当時釧路におりましたので、早速駆けつけましたが、凍上と除雪問題をかかえる道東地方の関心は極めて高く、参加者は120名に達し、大変有益な会でありました。北海道支部は、毎年全道各地において、このような談話会・講演会、または映画会を開催してこられ、木下先生が掲げられた雪氷学の発展と北海道の開発に関して、実に偉大なる貢献をされて参りました。そもそもわが国の雪氷学の発展は、殆どが北海道支部の方々のご尽力による、と申し上げても決して過言ではありません。この輝やかな業績を挙げてこられた皆様に対し、心からなる敬意を捧げますと共に、この記念式典を契機としての更なる御発展を祈るものであります。

さて、私ども、4年ほど前に、及ばず乍ら東北支部を創立いたしました。その節は、若濱支部長先生を始め、皆様から格別のご厚情ご指導を賜わり、本当に有難うございました。どうか今後ともよろしく御指導、御鞭撻を下さいますようお願い申し上げます。

さて、御礼の言葉が最後になって大変恐縮に存じますが、このめでたい式典に御招待いただきお祝の言葉をのべる機会を与えられましたことは、東北支部にとりまして無上の光栄とするところであります。

誠に有難うございました。

北海道支部の益々の御発展を重ねてお祈り申し上げ、祝辞といたします。

平成元年6月13日

